

お聞かせください

避難生活の中で感じていること、困っていること。除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



菅野 康雄さん(関根・松塚)

行政区の老人クラブの会員も避難でばらばらに。元気な人は行事に出て来られますが、足腰が弱ってしまった人はなかなかそういきませんね。そこで震災前にも行っていた「ミニ・デイサービス」を開いてみようかと準備を進めているところです。

建て替え予定の集会所で、思い出や近況を語り合おうという「ミニ・デイサービス」。長い間利用してきた集会所への感謝もこめ、なかなか出掛けられない仲間も参加しやすいように計画されたと聞きました。当日はぜひ、皆さんで良い時間をお過ごしください。

※8月2日の開催のようは、「広報いいたて9月号」でお知らせする予定です。

村の委託で社会医療法人「秀公会」が運営するサポートセンター「あづまっぺ」は、要介護認定者のデイサービスを行う施設ですが、並行して村民なら誰でも利用できる「交流サロン」を毎日開いています。団体での利用はできませんが、村の高齢者の皆さんの憩いの場として、多くの方にご活用いただいています。今回配布される村のリスコミ新聞「かわら版道しるべ」に「あづまっぺ」の情報が掲載されていますので、そちらもぜひ参考にご覧ください。

菅野 裕恵さん(佐須)



年中児の息子がいて、今後、避難指示解除になった時に、村の小学校がどうなるのか気になっています。子どもは友達と一緒にいたいと言いますし、転校への不安もあります。上の子どもたちのように、村の学校に進学させられれば良いのですが。

現在、福島市飯野町と川俣町にある幼稚園・小中学校では、子どもたちがいきいきと園生活・学校生活を送っております。

村内における学校教育は、国の避難指示解除後、村の帰村判断を経た後の新年度4月から再開することを視野に入れております。それについては、保護者の皆さんや子どもたち、地域の皆さんのご意見もお聞きし、学校再開等検討委員会（仮称）にも協議をいただいて、少しでも村立園・学校への就園・就学が図られるよう検討してまいります。

帰還後に学校を再開した他の自治体では、避難先からの通園・通学に配慮し、避難先と再開した教育施設を結ぶスクールバスを運行しています。村でもそうした施策を含めた教育環境の整備と、教育の質のさらなる向上を目指してまいります。

いいたて 歳時記

ならわしや季節のあれこれ

その④

お盆のならわし

8月のお盆の時は、盆棚を作って先祖の霊を迎えました。また、迎え火として、お墓に提灯を飾ったり、新たに亡くなった人のある家では灯籠を揚げたりもしました。

盆棚は、桶にのし板をのせて、ござを敷いて作りました。ござをマコモで作る地区もありました。盆棚の両脇には村の木や竹を立て、そこに縄や竹を張って、色紙やそうめんを数か所に付け、しめ縄、昆虫、ホオズキなどを飾りました。

また、お盆料理は、なまものを避けます。ハスやカボチャやサトイモなどの葉を皿代わりにして、箸は柳の木で作り、2人以上を準備しました。盆送りの16日には、備えたご飯などをまとめて葉に包み、キュウリやナスで馬を作って一緒に川に流しました。ござに包んで流す所もありました。



参考：「おばあちゃん、おじいちゃんの知恵袋」村教育委員会発行

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
石川 未紗ちゃん	聡・美保	比叡
佐藤 佳南ちゃん	翔大・梨花	関根・松塚
高野 友希くん	修一・梓	大久保・外内
佐藤 波音ちゃん	博・ゆかり	上飯樋
庄司 詩汰くん	貴弘・阿友美	関沢
高野 莉子ちゃん	大輔・泰子	白石

すくすくと元気に育てね

結婚おめでとう

氏名	出身地
高橋 和也	上飯樋
関川 早紀	伊達市
佐藤 健太	前田
高松 祥子	二本松市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
山田 一郎	83	上飯樋
高橋 隆雄	87	小宮
菅野 一二	88	比叡
中川 昭太郎	87	宮内
小林 作江	71	小宮
小三輪 善一	85	関沢
佐藤 一男	57	上飯樋
田中 信康	77	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

国から避難指示解除の方針が発表され、村も役場機能をいつどのような手順で戻すか協議を進めています。7月、本庁舎で書類の整理が行われました。すでに一部業務は再開していますが、震災時の混乱や機能移転で眠りに必要な場所の片付けが必要なのです。ポロシャツに着替えた職員が交互に本庁に向かいました。片付けで迷子にならないよう、過去の広報写真は一旦飯野出張所に運び込まれました。白黒写真や古いアルバムもあり、開けばその時期の村のようすがいきいきと伝わる宝の山。今後はデジタルアーカイブにも仲間入りです。本庁全体が眠りから覚める日も少しずつ近づいています。そのようすもきつとアルバムの続きに収められていくのでしようね。

(星)